

平成24年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	さいとう たけし 齋藤 武司	平成 6年 5月～10年 5月 上山市体育協会 副理事長 平成10年 5月～24年 5月 上山市体育協会 理事長 平成15年 5月～24年 6月 上山市スポーツ少年団本部長	上山市 体育協会	永年にわたり、上山市体育協会副理事長、理事長、上山市スポーツ少年団本部長を務められ、組織の発展に多大な貢献をされた。また、「かみのやま総合型地域スポーツクラブ」クラブマネージャーのほか、多くの関係スポーツ団体においても要職に就かれ、各団体を発展・活性化させた功績は大である。
2	くどう かつみ 工藤 勝美	平成13年 4月～15年 3月 中山町体育協会 常任理事 平成15年 4月～20年10月 中山町体育協会 副会長 平成20年10月～現在 中山町体育協会 会長	中山町 体育協会	中山町体育協会において、永きにわたりスポーツの振興と普及に尽力されている。副会長任期途中で会長に就任され、現在は中山町のスポーツの顔として町内外で活躍されている。また、所属する中山町体育協会柔道部において、スポーツ少年団柔道部で指導されており、スポーツ振興に多大な貢献をされている。

(競技団体推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
3	ながい けんじ 長井 健二	昭和63年 4月～現在 山形県水泳連盟 常任理事(普及委員) " 日本水泳連盟公認指導員養成検定委員 平成14年 4月～現在 山形県水泳連盟 学連担当常任理事	山形県 水泳連盟	昭和63年より県水泳連盟普及委員として、日本水泳連盟公認指導員養成の検定委員を務め指導員の養成に尽力し、養成講習会では水泳指導者に必要な知識・技能内容を分かりやすく指導するなど、講習会には欠かせない存在となっている。また、平成14年より大学関連行事の本県代表として県水泳連盟との綿密な調整を図り、大学生の競技力向上と参加体制の整備拡充に中心的な役割を果たしている。競技力向上に関する水泳の科学的トレーニング理論についての示唆も大きい。
4	おくやま たかお 奥山 孝雄	昭和60年 4月～平成 7年 3月 山形県サッカー協会 常任理事 平成 7年 4月～24年 6月 NPO法人山形県サッカー協会 副会長	山形県 サッカー協会	多岐にわたり、県サッカー協会の運営に尽力されるとともに、サッカーの普及と競技力向上を積極的に推進するなど、本県サッカー競技の発展に多大な功績を挙げられた。大企業をメインスポンサーに持たず地域密着を掲げる「モンテディオ山形」のJリーグ加盟にあたっては、県内各地区サッカー協会によるホームゲーム開催運営協力等を行うことにより、地域とJクラブとの連携方策の確立にも大きく寄与され、その功績は顕著である。
5	あきほ たかし 秋久保 孝	平成 3年 4月～24年 3月 山形陸上競技協会 理事 平成24年 4月～現在 一般財団法人山形陸上競技協会 理事	山形陸上 競技協会	22年間の長きにわたり、山形陸上競技協会理事として、平成4年「べにばな国体」をはじめとする全国規模の大会を成功に導いたほか、平成24年度からの法人化を推進するなど、組織運営に尽力された。陸上競技を通して、本県のスポーツ発展のために寄与された功績は大である。
6	さとう きよし 佐藤 喜代志	昭和59年 4月～平成 8年 3月 酒田地区小学生バレーボール連盟 理事長 昭和63年 4月～平成12年 3月 酒田地区バレーボール協会 普及委員会委員長 " 山形県バレーボール協会 理事 平成 8年 4月～17年 3月 酒田地区小学生バレーボール連盟 副会長 平成12年 4月～17年 3月 酒田地区バレーボール協会 副会長 " 酒田地区ソフトバレーボール連盟 副会長 平成17年 4月～23年 3月 酒田地区バレーボール協会 会長 " 山形県バレーボール協会 副会長 平成23年 4月～現在 酒田地区バレーボール協会 顧問	山形県 バレーボール 協会	スポーツ少年団認定指導員として、長年にわたりバレーボール競技の底辺拡大と競技力向上に尽力された。ソフトバレーボール・マスターリーダーとして、生涯スポーツとしてのソフトバレーボール競技の普及振興に尽力。また、Vプレミアリーグをはじめ、各種東北大会や県大会のスムーズな競技運営を主導された。各連盟の地区役員として、また県バレーボール協会の副会長として後進の育成にも意を注ぐなど、バレーボール競技の普及・振興に寄与している功績は誠に大である。
7	すずき あさお 鈴木 朝夫	昭和50年 4月～60年 3月 山形県バスケットボール協会 競技部長 昭和60年 4月～平成 2年 3月 山形県バスケットボール協会 参与 平成 2年 4月～ 3年 3月 山形県バスケットボール協会 副理事長 平成 3年 4月～ 6年 3月 山形県バスケットボール協会 理事長 平成 4年 4月～ 6年 3月 東北地区バスケットボール協会 理事長 平成 6年 4月～現在 山形県バスケットボール協会 顧問 平成 6年 4月～現在 東北地区バスケットボール協会 参与 平成12年 4月～13年 3月 山形県高等学校体育連盟 卓球専門部長 平成13年 4月～14年 3月 酒田地区高等学校体育連盟 会長 平成15年 4月～19年 3月 山形県体育協会競技力向上委員会委員 平成21年 3月～現在 山形県体育協会生涯スポーツ推進委員会委員	山形県 バスケットボール 協会	昭和53年全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技山形大会の競技副委員長として大会成功に貢献し、同年長野国体におけるバスケットボール競技教員の部監督として全国3位の成績に導いた指導力は特筆される。平成3年度からは県バスケットボール協会理事長としてリーダーシップを如何なく発揮し、県協会の組織力及び競技力の向上に大きく寄与した。特に、平成4年「べにばな国体」におけるバスケットボール競技の総合優勝及び各方面から称賛された見事な大会運営は、氏の統率力と指導力の賜である。現在は総合型地域スポーツクラブ「寒河江市総合スポーツクラブ」会長として生涯スポーツの振興に取り組むなど、競技にとどまらず本県スポーツの振興・発展に尽力されている功績は誠に大きい。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
8	そんだ あつし 孫田 淳	平成 2年 4月～ 5年 3月 山形県ソフトテニス連盟 常任理事 (兼県高体連ソフトテニス専門委員長) 平成 6年 4月～23年 3月 山形県ソフトテニス連盟 理事(広報委員長) 平成24年 4月～現在 山形県ソフトテニス連盟 理事(指導委員長)	山形県 ソフトテニス 連盟	昭和58年から23年間、県立高等学校ソフトテニス部顧問として、多くの高校生育成に関わってきた。この間少年女子のコーチ、監督としても県代表チームの指導にあたり、S63京都、H6愛知、H8広島、H17岡山国体への出場を果たし、H4ベにはばな国体では、競技副委員長として運営全般を統括し成功に導いた。平成14年より広報委員長を務め、加盟団体や全国大会出場選手を紹介など多くの方々に読まれる広報誌づくりに奮闘し、指導委員長では指導者の指導力向上を目的とした活動を展開し、中高一貫指導体制の基礎づくりに着手するなどソフトテニスの普及・振興に貢献した功績は大である。
9	たかはし こういち 高橋 浩一	昭和56年 4月～平成20年 3月 山形県卓球協会 理事 平成20年 4月～24年 3月 山形県卓球協会 副理事長 平成24年 4月～現在 山形県卓球協会 副会長 平成24年 4月～現在 山形県ラージボール卓球連盟会長	山形県 卓球協会	氏は、県卓球協会理事として、永年にわたり協会の発展に寄与された。ベにはばな国体では県外選手の受入れに尽力され、競技力でも卓球競技総合優勝に大きく貢献された。近年では、平成21年天童市で開催された全国ラージボール卓球大会において、過去最高となった参加者(2800名超)を迎え、大会運営の陣頭指揮にあたり大会を成功裡に導いた。平成23年度には県ラージボール卓球連盟を立ち上げ、初代会長として手腕を発揮されている。現在は県協会副会長として、また(公財)日本卓球協会マスターズ・ラージボール委員としても活躍され、その存在は県内外から高い評価と信頼を得ており、これまでの功績は誠に顕著である。
10	さとう かずお 佐藤 数雄	昭和50年 4月～平成 4年 3月 山形地区野球連盟 審判部員 平成 4年 4月～17年 7月 山形地区野球連盟 審判部副部長 平成17年 8月～現在 山形地区野球連盟 副会長兼理事長 平成 4年 4月～17年 7月 山形県野球連盟 評議員 平成17年 8月～現在 山形県野球連盟 常任理事	山形県 野球連盟	多年にわたり審判技術の向上に尽力され、審判指導者としての資質を遺憾なく発揮し、今日の審判員組織の礎を築いた。後年、県野球連盟常任理事として東北大会や東日本大会等大きな大会運営に携わり、本県野球界の発展に多大な貢献を成した。野球競技の普及振興に挺身するとともに、後進の指導・育成にも尽力され、野球界の発展に大きく寄与しており、その功績は誠に顕著である。
11	こぐち おさむ 小口 修	昭和63年 4月～平成17年12月 山形県ソフトボール協会 理事 平成18年 1月～現在 山形県ソフトボール協会 副理事長 平成12年 1月～現在 山形県ソフトボール協会 事務局長 昭和63年 4月～現在 置賜地区ソフトボール協会 常任理事、副理事長、理事長 平成22年 4月～現在 東北ソフトボール協会 理事 平成24年 4月～現在 日本ソフトボール協会 評議員	山形県 ソフトボール 協会	永年にわたり、審判員及び指導者として地域におけるソフトボール競技の振興に率先して取り組まれ、昭和61年からは白鷹町協会の役員として「ベにはばな国体」の成功に貢献されるとともに、日本女子リーグなど全国的な大会の開催に尽力されている。また、置賜地区協会や県ソフトボール協会においても要職を担っており、組織の運営、育成に指導的な役割を果たされ、組織の活性化に寄与された功績は誠に顕著である。
12	いとう みちこ 伊藤 みち子	平成 4年 4月～ 6年 3月 山形県レディースバドミントン連盟 事務局長 平成 6年 4月～21年 3月 山形県レディースバドミントン連盟 理事長 平成21年 4月～現在 山形県レディースバドミントン連盟 副会長	山形県 バドミントン 協会	永年にわたり、山形県レディースバドミントン連盟の事務局長、理事長、副会長として、バドミントンの普及・発展や協会運営に尽力された。また、山形地区、県、東北、全国大会の県内開催時には、率先して大会運営等に携わり、協会員を取りまとめた功績は顕著である。
13	しもやま ひろき 下山 弘喜	平成 2年 4月～現在 山形県剣道連盟 審議員 東根市剣道連盟 会長 八六七剣友会(地域剣道振興団体) 会長	山形県 剣道連盟	県剣道連盟審議員として、23年もの永きにわたり会員剣道技術の向上及び試合・審判規則等の正しい実践・指導に多大な貢献をされた。また、東根市剣道連盟会長として、剣道を通して子どもたちや若い剣士の剣道技能の向上、青少年の健全育成に意を注ぎ、県及び地区剣道の振興・発展に大きな実績を挙げ、組織への貢献大なるものがある。平成21年に剣道の最高位である剣道八段を取得され、県内外の講習会等において指導している。また、地域の剣道スポーツ少年団や一般剣士の稽古会にも積極的に参加し「正しく強い剣道の普及・発展」に大きな影響を与えている。
14	たけだ けんさく 竹田 憲作	昭和54年 4月～56年 3月 山形県山岳連盟理事(置賜地区理事) 昭和56年 4月～平成元年 3月 山形県山岳連盟理事(自然保護委員長) 平成元年 4月～22年 3月 山形県山岳連盟理事(自然保護委員) 平成22年 4月～現在 山形県山岳連盟理事(登山部自然保護担当)	山形県 山岳連盟	本県主要山岳の厳冬期登山をはじめ、海外登山の指導者として後輩を育成、県山岳連盟の理事に就任後、環境省、森林管理局との生態系保護活動に身を呈し、現在の朝日山系、吾妻山系の生態系保護地域の設定に尽力された。また、山岳文化に深い関心をもち、朝日軍道の研究や長井葉山の西山開発の研究、各山岳団体のもつ歴史、文献等を研究され広く研究成果を公表し、その実績は高く評価されている。現在は全国の山岳団体との交流を通し、更なる山岳文化の探求に専念されている。
15	なかやま しゅうすけ 中山 脩助	平成 4年11月～20年 3月 山形県武術太極拳連盟 事務局長 平成20年 4月～23年 3月 山形県武術太極拳連盟 副会長	山形県 武術太極拳 連盟	県武術太極拳連盟発足時から約16年間にわたり事務局長を務め、引き続き3年間副会長を務め、組織運営に尽力された。組織基盤の形成に寄与し、県内における武術太極拳の普及と発展に多大な貢献をされた。

平成24年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	きむら ふみひろ 木村 文浩	第67回国民体育大会 カヌー競技 K-1 200m 優勝 古澤康太(谷地高校) K-2 200m・500m 優勝 白田駿、眞壁優(谷地高校) FK-4 500m 優勝 谷地高校 平成24年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 K-2 200m 優勝 白田駿、眞壁優(谷地高校) K-4 200m・500m 優勝 谷地高校 FK-2 200・500m 優勝 早坂枝里、斉藤光里(谷地高校) FK-4 200m・500m 優勝 谷地高校	山形県 カヌー協会	氏は、卓越した指導により、本県選手を全国優勝に導いている。20年以上にわたる氏のカヌー指導は、近代的な指導法に現役時代から培った精神的指導を取り入れ、生徒のやる気を引き出している。
2	はしもと よしひさ 橋本 佳久	JOCジュニアオリンピックカップ平成24年度全国中学生カヌー大会 K-4 優勝 白田和豊、白田隆之、樽石哲平、菊池憲斗(西川中) JOCジュニアオリンピックカップ平成24年度全国中学生カヌー大会 特別レース2年生K-1 優勝 菊池憲斗(西川中)	山形県 カヌー協会	少人数部員のカヌー部にあり、その少人数という特性を活かし、選手たちの個々の隠れた力を引き出して全国優勝に導いた。その指導は、単に競技指導に留まらず、あいさつを通じた人間教育や共に取り組む心の育成も合わせ持っており、全国の指導者からも一目置かれる存在である。
3	ふくしま まさと 福島 雅人	平成24年度全日本実業団バスケットボール競技大会 優勝 (山形銀行ライヤーズ) 第8回全日本社会人バスケットボール選手権大会 優勝 (山形銀行ライヤーズ)	山形県 バスケットボール協会	山形銀行女子バスケットボール部を、年間2度の優勝に導いた。また、年間を通して小・中・高・大学生対象にクリニック・合同練習会・練習試合を数多く実施し、本県のバスケットボール技術向上、一貫強化及び普及に多大な貢献をしている。

平成24年度 特別賞受賞者

氏名	受賞事項	推薦理由
さくま ようこ 佐久間 陽子	第15回世界剣道選手権大会 女子 個人・団体 優勝	世界剣道選手権において、女子個人、団体優勝の両タイトルを獲得し、『攻撃剣道』と称する巧みなスタイルを貫き世界の頂点に立った。「山形県剣道」の強さを国内外に発信できた功績は大きく、本県剣道の競技力向上の指針として、また県内スポーツ界全体の発展に大いに貢献するものと期待されている。